

# 藤沢市 9月議会

# 決算議会が始まります。ご意見・ご要望をお寄せください 9月2日から10月8日までの37日間の予定です

## 2018年度の決算を審議します！ 決算特別委員に味村議員を予定

9月議会が9月2日からはじまります。10月8日までの37日間です。9月26日～10月4日までは、決算特別委員会が設置され、2018年度の決算を審議します。党議員団の決算委員は味村耕太郎議員を予定しています。昨年の決算審議では、市役所の不適切な事務処理が発覚し「継続審査」になるという藤沢市議会始まって以来のことになりました。

この一年で改善がはかれたのかは一つの焦点になります。また、障がい福祉や高齢者福祉、子育て支援策を軒並み削減・廃止の方針が行革課題になっているもとで、それをストップさせる論戦も必要になります。日頃、皆様が気付いておられる市政へのご意見・ご要望をお寄せください。

### 【藤沢市議会9月定例会日程予定】

9/ 2	月	本会議	議案・予算上程
/ 4	水	本会議	議案等質疑、委員会付託
/ 5	木	建設経済常任委員会	味村議員担当
/ 6	金	厚生環境常任委員会	土屋議員担当
/ 9	月	子ども文教常任委員会	柳沢議員担当
/ 10	火	総務常任委員会	山内議員担当
/ 11	水	補正予算常任委員会	味村議員担当
/ 12	木	議会運営委員会	柳沢議員担当
/ 17	火	本会議	議決・一般質問
/ 18	水	本会議	一般質問
/ 19	木	本会議	一般質問
/ 20	金	本会議	一般質問
/ 24	火	本会議	一般質問・18年度決算上程
/ 26	木	本会議・決算特別委員会	出資法人質疑・決算委設置
/ 27	金	決算特別委員会(9:30)	味村議員担当予定
/ 30	月	決算特別委員会(9:30)	〃
10/ 1	火	決算特別委員会(13:30～)	午前：藤沢市表彰式
/ 2	水	決算特別委員会(9:30～)	味村議員担当予定
/ 3	木	決算特別委員会(9:30～)	〃
/ 4	金	決算特別委員会(9:30～)	〃
/ 8	火	本会議	決算討論・議決

●請願・陳情締切8月28日(水)正午までです。  
●本会議は10:00開会・常任委員会は9:30開会

### 行政改革等特別委員会

## 「国民健康保険の窓口民間委託化、福祉・暮らしの33事業削減を批判

……日本共産党藤沢市議団……

8月2日、行政改革等特別委員会が開かれました。藤沢市がすすめている「藤沢市行政改革2020」の取組状況が報告されました。意見を述べた柳沢潤次委員は「本来、行政改革は、行政のムダを省き効率的、民主的で、市民サービスが向上するものでなくてはなりません」と述べ、「他の自治体より優れている障がい者福祉、高齢者福祉など33事業(裏面参照)を廃止削減することや、個人情報漏洩のリスクを伴い、公務職場を民間の儲けの対象にする『窓口業務の民間委託化』などをすすめている行政改革はやめるべき」と厳しく批判しました。



### 国民健康保険の窓口業務の民間委託化はやめるべき

国民健康保険窓口業務の民間委託化(共同事業化)は委託業者が内定し、来年4月から実施される予定です。21年には、後期高齢者医療、国民年金業務の委託化も予定されています。さらに、介護保険、市民窓口センターも実施を前提として検討が進められています。



市民の大事な個人情報漏洩の危険、滞納整理の強化、偽装請負の危険、職員の専門性の低下など、問題山積の窓口業務の民間委託化はやめるべきです。

**日本共産党 藤沢市議団 市議会報告**  
No.277  
2019年8月25日(連絡先) Tel (25) 1111 (内) 5649  
(ホームページ) <http://www.ne.jp/asahi/jcp/fujisawa/>  
(E-mail) [f-kyosan@cityfujisawa.ne.jp](mailto:f-kyosan@cityfujisawa.ne.jp)



<法律・生活相談>  
毎月10日頃午後1:30から予定  
(本庁舎9階日本共産党議員団控室にて)  
●ご希望の方は事前にご連絡ください。  
0466 (25) 1111 (内線) 5649まで

ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください

  
柳沢潤次

  
土屋俊則

  
山内幹郎

  
味村耕太郎

# 他自治体より優れている福祉など33事業の削減すすめる！ すでに2019年度に10事業は完了…行革特別委で報告

## 「見直し検討事業」33事業一覧（改訂版）

（2019年8月2日行革特別委報告）

事業名	見直し検討内容
1 表彰関係費	○ 市長等常勤特別職及び退職職員への表彰と甲斐金…廃止
2 交通安全団体等活動費	長後地区の「学童等交通誘導員事業」の見直し検討
3 防災設備等事業費	○ 「ふじさわ街歩きナビ」について廃止を含めた見直し…廃止
4 地区社体協活動費	○ 団体育成費及び地区スポーツ推進事業費の類似5事業統合検討…2事業統合
5 学校体育施設開放事業	夏期学校プール開放事業を各地区の実情を踏まえて運用検討
6 老人福祉施設建設助成費	○ 特別養護老人ホームの施設整備の補助基準の見直し…補助金引き下げ
7 老人福祉施設返済金助成費	○ 特別養護老人ホームの法人に対する返済金補助制度の対象を見直し…廃止
8 心身障がい者介護手当	家族等の介護者に対する手当額の見直し検討
9 障がい者福祉手当	対象者の見直し検討
10 障がい者医療費助成制度	対象者の定義の再検討や年齢制限の導入を検討
11 障がい者等福祉タクシー助成事業	助成額と対象者の見直し検討
12 要介護高齢者福祉タクシー助成事業費	時間制運賃から距離制運賃へ見直しと対象年齢見直し検討
13 敬老会事業費	開催場所や開催方法について見直し検討
14 在宅福祉サービス関連事業費（3事業を集約）	寝具・乾燥消毒・おむつ支給、緊急通報システム事業の見直し検討
15 介護保険利用者負担軽減対策事業費	市独自の補助基準を国基準に合わせる見直し検討
16 給食サービス事業費	○ 公的給食サービスを2018年度末で廃止。民間や介護サービスへ移行…実施
17 福寿医療費助成事業	○ 100歳以上の医療費無料化廃止…廃止
18 敬老祝金事業費	№17とのバランスを考慮し事業の内容見直し検討
19 高齢者いきいき交流事業	利用施設のあり方、助成額、対象年齢の見直し検討
20 ふれあい入浴事業	△ 各イベントでの中学生以上の利用料の見直し…100円から200円に増額
21 地域子育て支援センター事業費	国県の補助基準額から国の標準的な支援センターの規模、内容を分析し運営などを検討
22 幼児教育振興助成費	補助基準や単価の見直し検討
23 法人立保育所運営費等助成事業費	助成単価、基準、補助率の見直し検討
24 青少年指導員活動費	地方公務員法改正に伴う指導員への任用・報酬形態の見直し
25 青少年施策推進費	○ 青少年問題協議会…休止 青少年育成活動推進功労者表彰…廃止
26 特別支援保育等関係費	幼稚園に県補助金の活用を促すとともに、契約方式や支払い方法等の見直しを検討
27 幼児二人同乗用自転車購入費助成事業費	○ 助成事業…廃止
28 自転車駐車場整備費	△ 増改築に対する補助…検討継続 民間活力と連携した事業…実施
29 狭あい道路整備事業費	移設補償費の上限額設定について見直す
30 道路改修舗装費	増加している舗装更新需要に対し、舗装修繕のしくみ、契約手法を見直す
31 浄化槽設置助成事業費	○ 建築物の新設に伴う浄化槽の補助…廃止
32 特別支援学級関係費	国基準以上の市単独支給部分の見直し検討
33 就学補助事業（2事業を集約）	就学補助事業の認定基準の生活保護基準の見直しと市単独部分の見直し検討

○印は2019年度までに見直しを完了した10事業  
△記は2019年度までに一部見直しを完了した2事業

藤沢市は「行財政改革2020」で、「厳しい財政状況への対応」を理由に、「事務事業の抜本的見直し」に取り組んでいます。その見直し、対象事業の選定基準は「事業開始から10年以上が経過し、かつ一般財源の比率が高い事業」「国の基準を上回って実施している事業」としています。その事業の内から下記の3基準に該当する33事業（左表）が選定されました。



33事業は、市民の生活に直接かかわる、福祉、暮らし、子育て分野の事業で、「他自治体より高い水準」などを理由に軒並み廃止、削減の対象にするのは「福祉の増進」を目的とする地方自治体の基本姿勢が問われる重大な問題です。

左表の○印にあるように、不足している特養ホームへの補助金の削減、100歳以上の高齢者医療費無料化の廃止、子育て世帯への経済支援である幼児二人同乗用自転車補助金廃止など10事業が、今年度実施されています。市民からは「知らなかった」との声も寄せられています。今後、20年度に11事業、

### ＜見直し検討対象事業の選定基準＞

- 1) 国県補助を上回って実施している事業または、他の自治体と比較して高い水準で実施している事業
- 2) 実施手法の変更や再構築などにより、事業の見直しの検討を進める事業
- 3) 事業の縮小や拡充、統合などについて、総合的な検討を要する事業

**10事業をすでに廃止・削減！**

見直しの方向性	見直しの方句と実施予定年度（単位：事業数）			
	2019年	2020年	2021年	合計
事業廃止	3			3
事業縮小	4	1	2	7
事業統合	1			1
制度の見直し	1	4	9	14
事業の再構築		1	1	2
実施手法の見直し		3		3
現状維持		1		1
その他	1	1		2
計	10	11	12	33

  

財政効果見込み（削減額）	（単位：千円）		
	単年度	2019年度	2021年度
単年度	78,840	31,938	9,216
累計	78,840	189,106	308,844

左表にもあるように、3年間での33事業の「財政効果見込み額」は3億884万円程度です。「財源が厳しい」と言う理由であるならば市民に喜ばれている福祉や子育ての事業を削減するのは、80億円を超える生み出すことはできません。

さらに、最大で400億円かかる村岡新駅建設と周辺開発など、ムダな大型開発事業をやめれば福祉に使う財源を生み出すことができます。

**財源効果見込み額は3億円余りと試算！**

21年度に12事業の廃止・削減などが実施される予定です。（左表参照）

える財政調整基金を取り崩せば済むことです。

**「見直し検討33事業」の撤回を求める市長陳情の署名活動がはじまっています。ご協力をお願いします。**

藤沢市行政改革等特別委員会が開かれ（8月2日）、33事業の見直し検討状況の報告がありました。2019年度に33事業の内、10事業はすでに廃止や削減が完了

しています。市民への十分な説明もしないうで削減ありきの検討を進め、決定したことは余りにも強引です。市民から強い批判の声が上がっています。